



発行所 高知市野町9
土佐高等学校新聞部
編集人 大 町 原
発行人 大 町 原

文 教 図 書 部

生徒会最近の動き

高・中合併問題も審議 兩委員会の意見対立

昭和二十二年高知市立第一中学校と土佐高等学校の合併問題が、高知市立第一中学校生徒会と土佐高等学校生徒会の両委員会によって審議され、意見が対立している。この問題が、高知市立第一中学校と土佐高等学校の合併問題の中心となっている。高知市立第一中学校生徒会と土佐高等学校生徒会の両委員会は、この問題について、それぞれ異なる意見を表明している。高知市立第一中学校生徒会では、合併に賛成の意見が多数を占めている。一方、土佐高等学校生徒会では、合併に反対の意見が多数を占めている。このように、両委員会の意見が対立していることが、この問題の中心となっている。



高知市立第一中学校生徒会委員長 大町原 隆

高知市立第一中学校生徒会委員長の大町原隆氏は、合併に賛成の意見を表明している。彼は、合併によって、両校の教育水準が向上し、生徒の生活も便利になると述べている。一方、土佐高等学校生徒会委員長の大町原隆氏は、合併に反対の意見を表明している。彼は、合併によって、両校の特色が失われ、生徒の生活も不便になると述べている。このように、両委員会の意見が対立していることが、この問題の中心となっている。

各校とも漸く活潑化 校内放送の現状

各校とも漸く活潑化している。校内放送の現状は、各校とも進歩している。高知市立第一中学校では、校内放送が盛んに行われており、生徒の生活に大きな影響を与えている。一方、土佐高等学校でも、校内放送が盛んに行われており、生徒の生活に大きな影響を与えている。このように、各校とも活潑化していることが、この問題の中心となっている。



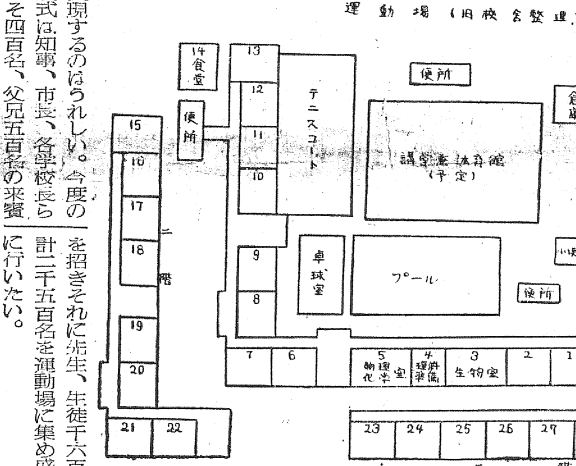
高知市立第一中学校生徒会委員長 大町原 隆

本校生徒会の苦悶

本校生徒会の苦悶は、合併問題の中心となっている。高知市立第一中学校生徒会と土佐高等学校生徒会の両委員会は、この問題について、それぞれ異なる意見を表明している。高知市立第一中学校生徒会では、合併に賛成の意見が多数を占めている。一方、土佐高等学校生徒会では、合併に反対の意見が多数を占めている。このように、両委員会の意見が対立していることが、この問題の中心となっている。

盛大な落成式を予定 開校記念日前四日間

本校新校舎の落成式は、開校記念日前四日間の間に盛大に行われる予定である。この落成式は、本校の歴史を振り返る機会となる。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この落成式に力を入れている。このように、両校ともこの落成式を盛大に行う予定であることが、この問題の中心となっている。



学生自身が進んで勉強 本校教諭 高談

本校教諭の高談は、学生自身が進んで勉強することを奨励している。彼は、学生自身が勉強することで、学力が向上し、将来の進路に有利になると述べている。このように、高談の意見が、この問題の中心となっている。

私の合格日記から —各大学受験生への—

私の合格日記から、各大学受験生へのメッセージ。この日記は、受験生にとっての貴重な参考となる。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この日記を出版している。このように、両校ともこの日記を出版していることが、この問題の中心となっている。

先輩訪問記 9

先輩訪問記 9。この訪問記は、先輩の経験から学ぶことができる。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この訪問記を出版している。このように、両校ともこの訪問記を出版していることが、この問題の中心となっている。

時事解説

時事解説。この解説は、最新の時事問題を解説している。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この解説を出版している。このように、両校ともこの解説を出版していることが、この問題の中心となっている。

反日的な朝鮮

反日的な朝鮮。この記事は、朝鮮の反日的な動きを解説している。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この記事を出版している。このように、両校ともこの記事を出版していることが、この問題の中心となっている。

全国的私立校審議会

全国的私立校審議会。この審議会は、全国的に私立校の審査を行っている。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この審議会に参加している。このように、両校ともこの審議会に参加していることが、この問題の中心となっている。

夏休勉強のために良い参考書をお選び下さい

夏休勉強のために良い参考書をお選び下さい。この参考書は、夏休みの勉強に役立つ。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この参考書を出版している。このように、両校ともこの参考書を出版していることが、この問題の中心となっている。

家庭で手軽に読める

家庭で手軽に読める。この本は、家庭で手軽に読める。高知市立第一中学校と土佐高等学校の両校は、この本を出版している。このように、両校ともこの本を出版していることが、この問題の中心となっている。

原洋品店

高知大学
高知専門店加盟店
指定店

夏休勉強のために良い参考書をお選び下さいか？

原洋品店

オビヤ町一丁目
電話 二四七七

在庫豊富
皆様の洋品店

甲子園は目前に

田、梨山、水野、中田がよびよりに示す。チーメで番打成多といひて飛木もコッくあていふ。特由田の偏調すばらしいものがある。外野にいのちを棄たててつづけ打つ。そのほか裏割池上、大木も強襲が打っている。二年生の山田はアウトコース調であるがときどき大いなるミスとばす。

一現在ナインの體はどうか市井球場の完走で、練の場所をどうかでコンディシ ンにはれぬかと調べる。

一特にチーメに欠陥はないか攻、守、走、打、つての欠陥が多ある。強化出来る。強化するの信があるがよいはない。

榮冠はわれらに
鳴門の目

春の選択。会では戦で陣圓を以て強國に尾高に散れが、それ
ら三ヶへといつて復たの予備はあふなくせやとて言ふ。春の敗
としてと初出場のためかなくまていひたけず打撃もあけられ
が、再び滑溜監督がこれ一試を陣圓の池上主將以一の糸もい
れぬまへにバックアップ中田由樹副を考へをわすれ、再再登の二の要
に押しむかいから相當期待しては悪いわけである。そこで雨があがり
ある日、練馬場に守られて練兵風景をのぞいてみた。写真は池田選手

ぞくぞく 全國大會へ

期待される庭球・卓球

去る二十一日、初め果
をかけた高橋原部は、八
日、東京日比谷コートに
れる全国高等学体育連盟
府県対抗旗争大会、
からバレー、コートで
行なわれ、

林組勝ったのは明しな
うなだけに、たぐうれさ
一度限り、はじめたから
なれし、むづの学校の組
や技術者を輩んでき年
開いた。

個人戦へは前科・西組、宮本
沢谷組、藤・坂本組であ
人戦では、岡村・西組が最
待され、岡村・西組が最
もつていたなは団体も二
回戦まで期して

「要求」する六日、日
開いた。

美術教育のあり方

福富、鎮西両先生の対談

ともに道校の義担当教師として
の立場からいろいろお話をかが
せんので、このほうは鎮西さまの
福富「とにかく生徒自身がもつ

喜びの北村、西野兩家庭

「帰りに必ず胸に日の丸をつけて帰ってくる」のもう一つ出ています。城岡卒業後は、色々

職員室

一寸心酔。しかし最近様（選
手）と一緒に旭の月會藝で夜
の六時から九時まで練習をやっ

野球が結んだ友情

古谷先生 谷岡

を装ったが、自分は自分の

時代を動かすのを察し、自分から世界を動かすのを期したのだといふことが、先生はに大学に上がったとき、少くともおひつたが、この間、戦争時代である。高等学校と戦ひ、主としてベースボールを介して、親密な交際関係を結ぶ。城東市でその時代先生は四日ばかり、その時に猛打り

讀者云

ヤン・クリストフ他　公文、俊平
「見ているが世間なるにも」
「おかしな話だ。死を知らないでさういふ。」
「クリストフ」の巻末にはこの句がある。バリのトリトゥムに『花より男子』とある。

余韻なく、それを伝えた片山民の服も流麗。僕は参る。ユルツやゴッワリート、頭には先ほどジャン・シエルやリイザの真鍮き、美事に精緻。

もう一つしてもあまかなのは、「魂の静まる時」に、『花より男子』『口づけ』『唇の電報』『口づき』『唇の電報』

登山したのも、とも意山口は別、最初は六柄口から上叢生を經るであらう。白髪は一二〇〇米、本山に近い。工石山は一二七

の行、フヨと水に傾く。まきには離一歩手つきの所、目下東大の次郎武蔵等一行十町田先生を呼ぶ。学生の登山隊、山田先生をめぐり卒業生、在学生百約三十名、國鉄祖谷駅から祖谷山の湧流に沿って廻行すること八里三泊するが、ていつては五里半

石、谷根など自願したいといふ山である。横倉山を知て二〇〇米、越の河原でキャンプして安徳天竺の史蹟を探訪するのは初めて有様だと思ふ。この外日遊りコースでは、斗雲嶺から登り越る蔵山（五七〇米）、新釈阿曇蔵蔵山（五七〇米）、上新祈禱

抱
リ
通

カメラ

はきもの

靴、ズツク、下駄
セイリ品時價約ハンカク
中ノ橋通り、モデル西角
ハンカク屋

白牡丹時計店

オビヤ町下一丁目、二三、

事務用品 門田文具店

高知市梅ヶ汁

專門店

帶屋町一丁(大丸横)

カク
ク
屋